

肝付町の 教育・文化・スポーツの 今

今月のテーマ

特別支援教育

教育長の上久保 秀樹です。
今月は、肝付町の「特別支援教育」についてご紹介します。



「特別支援教育」とは・・・

特別な支援を必要とする子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもので、本人の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援することを目的としています。

本町においても、この5月に「話す・聞く・読む・書く・計算する・推論する」のどれかが上手くできなかったり、同じものに注意を向け続けたり、気持ちを切り替えたりするなどの感情や行動のコントロールに難しさを抱える児童に対して、その状態に応じた指導を行う教室（通級指導教室）が高山小学校に開級します。

大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について別の教室で指導を行うことから、他の小学校（義務教育学校前期課程を含む。以下同じ。）の児童も通うことができますので、各小学校の担任に御相談ください。

知的に障害はないものの、「話す・聞く・読む・書く・計算する・推論する」のどれかがう上手くできない子どもの特徴

- ・文字を見ても、読み方がすぐに思い浮かばず、上手く読めないから、教科書を読むの嫌だなぁ。
- ・漢字を何回書いても、なかなか覚えられないなぁ。



同じものに注意を向け続けたり、切り替えたりするなどの気持ちや行動のコントロールに難しさがある子どもの特徴

- ・頭の中にいろいろなことが思い浮かんで、勉強に集中できないなぁ。
- ・友達の嫌がることを言っちゃダメって分かっているけど、また言っちゃった。



また、本町では、このような困り感を持った児童生徒の支援を充実するため、通常の学級で個別支援等を行う「特別支援教育支援員」を配置しています。

< 特別支援教育支援員の主な役割 >

- ・個別支援（ノートテイク、指示の確認、用具準備、課題取組への援助）
- ・生活面、安全面に関する支援（移動補助、身の介助）
- ・心理的安定や適応促進に関する支援（クールダウン、相談）
- ・支援対象者のための個別的な教材作成
- ・校内巡視による声かけや様子の変化等の把握



▲通常の学級における個別支援の様子（宮富小学校）